

施策名：障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進

事業名	担当課・室名	ページ
障がい者差別解消・権利擁護推進事業	障害者社会参加推進室	1 / 4
障がい者福祉施設整備事業	障害福祉課	2 / 4
パラリンピックふるさとアスリート強化事業	障害者社会参加推進室	3 / 4
全国障害者芸術・文化祭開催事業	事業推進課	4 / 4

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	障がい者差別解消・権利擁護推進事業		事業期間	平成28年度～令和 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進			
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進					
総合評価	A 継続・見直し		事業実施課(室)名	障害者社会参加推進室		評価者	障害者社会参加推進室長 淵野 勇			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	差別や理解不足等により障がい者やその家族が置かれている困難な状況を解消するため、障がいを理由とした差別をなくし、社会的障壁を取り除く取組を一層推進することが求められている。	事業の目的	すべての県民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら安心して心豊かに暮らすことのできる共生社会を実現するため、障がいを理由とする差別の解消や合理的配慮の提供を推進するための体制等を整備する。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①障がい者差別解消・権利擁護推進センターの設置 障がいを理由とする差別に関する相談窓口の設置	①	4,925	総コスト	15,630	17,696	21,695
②普及啓発事業 障害者虐待防止法に基づく虐待防止研修、ヘルプカードの普及、出前講座等	②	2,499	事業費	5,630	7,696	11,695
③遠隔手話通訳推進事業 スマートフォン等を活用した遠隔手話通訳サービスの実施	③	629	(うち一般財源)	1,810	3,425	4,747
④障がい者差別解消支援地域協議会の開催 障害者差別解消法に基づく障がい者差別解消支援地域協議会の開催	④	112	人件費	10,000	10,000	10,000
	計	8,165	職員数(人)	1.00	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	センターへの相談件数(件) <small>※件数増加が目的ではないため、目標値未記入</small>		目標値		594	626			60%	遠隔手話通訳サービスの実施回数(回)		目標値	16	24	30		
		実績値		594	626						実績値	3	38				
		達成率		100.0%	100.0%						達成率	18.8%	158.3%				
虐待防止研修の参加者数(人)		目標値		150	150	150		31%	障がい者差別解消支援地域協議会の開催回数(回)		目標値	1	1	2		1%	
		実績値		150	180						実績値	1	1				
		達成率		100.0%	120.0%						達成率	100.0%	100.0%				

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
障がい者差別解消法に基づく職員対応要領を制定する市町村数(市町村)	目標値		10	16	18		a	障がい者差別解消法や県条例の普及啓発により、県内市町村において障がいを理由とする差別の解消に対する取組が推進された。
	実績値		13	15				
	達成率		130.0%	93.8%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や団体等に対する障がい者への理解促進</li> <li>障がいを理由とする差別に関する相談体制の強化</li> <li>障がい者に対するコミュニケーション支援の不足</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政が主体的に相談対応に関わる体制構築及び相談員の能力の向上</li> <li>障がいを理由とする差別の解消に向けて、さらなる普及啓発やコミュニケーション支援を推進</li> </ul>				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)  
(評価実施年度：令和元年度)

繰越がある場合用

事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業期間	昭和43年度～令和 年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進			
						施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 二日市 聖子			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくため、必要なサービス提供基盤の整備が求められている。	事業の目的	障がい者に対する福祉サービスの充実を図るため、施設整備を行う社会福祉法人等に対して経費の一部を助成する。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①障がい者福祉施設整備 障がい者福祉施設の施設等整備を行う社会福祉法人等に対する補助 (国1/2、県1/4、実施主体1/4)  ※H29～30完成施設(創設、大規模修繕) ：計3施設(共同生活援助(グループホーム)2施設)	①	230,753	総コスト	172,050	135,866	72,453
	②		事業費	166,050	129,866	66,453
	③		(うち一般財源)	55,353	23,978	
	④		(うち繰越額)	125,744	60,734	66,453
	計	230,753	人件費	6,000	6,000	6,000
			職員数(人)	0.60	0.60	0.60

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	グループホーム整備数(施設)	目標値		4	2	1		100%	目標値						
実績値			4	2			実績値								
達成率		100.0%	100.0%				達成率								
								目標値							
								実績値							
								達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
施設整備数(施設)	目標値		6	3	2		a	障がい者に対する福祉サービス提供基盤の整備が図られた。
	実績値		6	3				
	達成率	100.0%	100.0%					

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくために必要なサービス提供基盤の整備促進	今後の事業方針 ・障がい者が地域で暮らし働ける環境を充実させるため、今度も引き続き整備を実施				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	パラリンピックふるさとアスリート強化事業		事業期間	平成30年度～令和元年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進				
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進						
総合評価	A		継続・見直し		事業実施課(室)名	障害者社会参加推進室		評価者	障害者社会参加推進室長 淵野 勇		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	パラリンピック出場のための各種国内外の大会に参加する選手遠征費等は自己負担となっており、経済的負担が大きい状況にある。	事業の目的	東京2020パラリンピックでのメダル獲得が期待される県出身や県内選手の取組を支援することにより、強化費用を助成して競技力向上を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①特別優秀選手の支援事業 東京2020パラリンピックで活躍する可能性が高い選手の強化費用の助成 対象選手：7名 対象経費：国内外大会参加経費、指導者招聘費、練習会場借上費等 事業実施主体：大分県障がい者体育協会	①	2,100	総コスト		9,952	10,100
	②		事業費		1,952	2,100
	③		(うち一般財源)		1,952	2,100
	④		人件費		8,000	8,000
	計	2,100	職員数(人)		0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	評価
指定強化選手数(人)		目標値		6	6	6	100%		目標値						a
		実績値		7					実績値						
		達成率		116.7%					達成率						
		目標値							目標値						
		実績値							実績値						
		達成率							達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価	事業の成果
参加した国内外大会数(大会)		目標値		12	12	12	a	東京2020パラリンピック開催が迫る中、選手が競技力向上を目的として積極的に国内外の大会等へ参加することで、強化を図ることができた。
		実績値		31				
		達成率		258.3%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・特別優秀選手の更なる競技力の向上	今後の事業方針 ・特別優秀選手の更なる競技力の向上のための支援 ・特別優秀選手を活用したパラスポーツの普及啓発				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	全国障害者芸術・文化祭開催事業 (旧全国障害者芸術・文化祭開催準備事業)		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
				施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進			
総合評価	A 終了		事業実施課(室)名	事業推進課		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 秋月 久美	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民が障がい者アートに触れる機会が少なく、その魅力が十分に知られていない。また、創作活動を行っている障がい者やその支援者もまだ少ない。	事業の目的	芸術文化活動を通じた障がい者の社会参加と自立の促進を図るため、「第18回全国障害者芸術・文化祭」を開催し、障がい者の作品展示やステージ発表の場を設け、「障がい者アート」の取組を広く県民に周知し、その魅力を伝えるとともに、支援者の育成を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①展示の実施 全国の障がい者アート支援活動を紹介する「Action!」や国内外の障がい者作品展示などを実施	①	47,556	総コスト	55,160	124,724	
②人材育成、ネットワークづくり 障がい者アートを考える全国フォーラムや取組定着を目的とした地域ミーティングなどを実施	②	10,107	事業費	15,160	74,724	
③ステージイベントの実施 様々な障がい特性に配慮した映画鑑賞体験イベントやダンスや音楽ステージイベントを実施	③	8,626	(うち一般財源)	7,580		
④全国障害者芸術・文化祭企画運営委員会の開催 障がい者や福祉関係者、有識者等で構成される委員会において文化祭に関する協議(2回)	④	296	人件費	40,000	50,000	
	計	66,585	職員数(人)	4.00	5.00	

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	特別展「Action!」の観客数(人)	目標値	1,800	2,500		2,500	71%		「誰でも楽しめる映画館」の入場者数(人)	目標値		700		700	13%		
	実績値	2,288	5,230		5,230			実績値		478		478					
	達成率	127.1%	209.2%		209.2%			達成率		68.3%		68.3%					
人材育成セミナー(フォーラム)の参加者数(人)	目標値	40	80		80	15%	全国障害者芸術・文化祭企画運営委員会の開催回数(回)	目標値	4	3		3	0%				
	実績値	53	153		153			実績値	3	2		2					
	達成率	132.5%	191.3%		191.3%			達成率	75.0%	66.7%		66.7%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
障がい者アート関連事業実施市町村数(市町村)	目標値	10	18		18	100.0%	a	全国障害者芸術・文化祭では、県内全ての市町村で障がい者アート事業が実施され、身近な地域で障がい者の作品発表の場ができ、関係者の連携促進が図られるとともに、多くの県民に障がい者アートの魅力を発信することができた。
	実績値	14	18		18			
	達成率	140.0%	100.0%		100.0%			

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の芸術鑑賞機会の拡充</li> <li>障がい者の創作活動への参加を促進</li> <li>身近な地域での障がい者の作品発表機会の定着</li> <li>障がい者アートの魅力発信や積極的な活用</li> <li>当事者、福祉施設、アート関係者、行政等多様な関係者のネットワーク構築</li> </ul>	今後の方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">終了</div> <div>継続・見直し</div> <div>例外的に継続</div> <div>廃止</div> </div>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国障害者芸術・文化祭の成果を継承し、障がい者の芸術文化活動の定着と発表機会の拡充を図るため、「障がい者芸術推進体制整備事業」に組み替えて事業を実施</li> </ul>